

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はばたき&らんどおん(児童発達支援 はばたき)		
○保護者評価実施期間	2025年 4月1日		~ 2026年 2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2026年 1月14日		~ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	庭や室内の広々とした活動空間	広い芝生の庭を生かし夏はプール遊びなどを行い室内では、22畳のプレイルームでのびのびとした空間の中で、感覚遊びや体幹を鍛えられる遊びの提供をしています。和室とフローリングの部屋を二部屋使用しているので、食後には和室で自由遊びをすることで場面の切り替え次の活動にスムーズに移行できるようにしています。	マンネリ化することなく広い空間だからこそできる療育プログラムを考えて実践していく。
2	小規模だが一人ひとりに寄り添った療育ができる	スタッフ間での情報の共有を密に行いひとり一人の特性に合わせた療育ができるような活動プログラム作りを心がけています。	大人との関りが多くなる傾向もみられるので、大人を介しながら子ども同士の遊びへ転換できるようにしていく。
3	スタッフの療育に対する意識が高い	知識経験のある保育士がそろっているので、子どもたちの変化などや行動への気づきや療育のアイデアなど豊富	外部研修や他事業所訪問などにいき、視野を広げ療育にいかせるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物は広いが、築年数が古く耐震が不安	災害時に対応できるように避難訓練などを行うことや、修繕可能な場所はメンテナンスを行っています。	賃貸物件なので、修繕にも制限があるため、移転なども考慮にいれながら家主と協議をし修繕依頼をしていく
2	子どもたちの人数が少なすぎることで子ども同士の関りは薄くなってしま	場合によっては大人の数の方が多いこともあり、大人とだけの関りだけになってしまう時ある	公園遊びなどや子どもたちがいる環境にいくことで、子ども同士の関りを育む環境作りをしていく。
3			